

## ②市民向けと観光向けのページを用意



市民向けページ

観光向けページ

### 【市民向けページ】

市民の皆さんや事業者など、平戸市のくらしや市政に関連したサイトです。

各種イベントのお知らせや市政の情報、入札情報など、さまざまな情報を適切なタイミングで情報を発信していきます。

### 【観光向けページ】

観光や宿泊で平戸を訪れる人たちにに向けたサイトです。

市外に向けた情報を発信し、見た人が平戸に来たいと思わせるような情報を発信します。

## ③情報にたどりつきやすいように配置

「くらし・手続き」、「子育て・教育」、「健康・福祉」、「文化・スポーツ」、「産業・ビジネス」、「平戸市行政情報」と6つの入口を設け、情報にたどりつきやすくしています。



上記の6つの入口から入っても、すぐに情報を見つけやすくするため、情報の分類や配置を見直し、全ページのデザインを統一しました。

また、すべてのページにナビゲーションメニューを配置し、関連する情報も探しやすくなるようにしました。

## ④障がい者や高齢者にも配慮

高齢者や障がい者、外国人にも配慮し、文字の拡大縮小や背景色を変更する機能、音声読み上げ機能や外国語への自動翻訳機能も設置しました。



「高齢者や、障がい者などの心身機能に制約のある人でも、年齢的・身体的条件に関わらず、ウェブで提供されている情報にアクセスし利用できること」が自治体のホームページには求められています。

すべての利用者にとって使いやすいホームページになるように、リニューアル後も常に利用者の皆さんの目線に立って情報を発信するように努めていきます。

## ⑤スマートフォン・タブレットにも対応



スマートフォンやタブレットで平戸市のホームページを訪れると、自動的に最適化された画面が表示されます。

リニューアルに合わせて、これまでのモバイルサイトに加え、スマートフォンサイトもオープンしました。スマートフォンの操作に適したボタンのサイズやページ幅など、小さな画面でも使いやすくなるよう、公式サイトに新たな仲間が加わりました。

# 平戸市ホームページ

平戸市  検索

# 3月1日リニューアル!

<http://www.city.hirado.nagasaki.jp/city/>

## ①トップページのデザインを一新



「市民向け」、「観光向け」、「ふるさと納税」、「SNSのページ」の4つの入口を設け、市内の利用者だけではなく市外の利用者にも配慮しています。

画面全体に動画や写真を配置し、平戸のイメージが一目でわかるようにしました(季節ごとに動画や写真は変更します)。また、キーワード検索をトップ画面に表示することで、中のページに入らなくても、利用者がすぐほしい情報にたどり着きやすくなりました。

**すべての利用者のために**  
平戸市のホームページは合併直後の平成17年10月に開設し、10年が経過しました。この10年の間でスマートフォンやSNS(※)の普及、外部からの不正アクセスに対するセキュリティの強化など、インターネットを取り巻く環境は日々進化しています。

以前のホームページは、利用者にとって情報が整理されていないため、どこに知りた  
い情報があるか分かりにくく、たどり着くまでに時間がかかったり、障がい者や高齢者などが利用する場合も、使い勝手のよくないなどの指摘がありました。  
このような課題を解決するために、利用者にとって使いやすい、情報を探しやすいホームページにリニューアルしました。新たにスマートフォンにも対応しています。  
ここでは、新ホームページの概要について少しお知らせします。

※ SNSとは・・・インターネット上で、登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのことです。

## SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)も充実!



**Facebook**  
フェイスブック社が提供するインターネット上のソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)です。

**Twitter**  
140文字以内の「ツイート」と称される短文を投稿できる情報サービスで、ツイッター社によって提供されています。

**LINE**  
携帯電話やパソコンに対応した、テキストチャットなどの機能を有するインスタントメッセージングサービスです。

**Instagram**  
iPhoneなどで撮影した画像を手軽に加工して共有できる、画像共有サービス、およびモバイルアプリの名称です。

ホームページのリニューアルに伴い、SNSを使った情報発信を更に充実させます。  
SNSは市からのお知らせや、イベントの紹介などを随時発信するのももちろんですが、災害時の緊急情報の発信ツールとしても非常に重要な役割を担っています。  
左記のSNSの独自性を生かしながら、適宜情報を発信していきます。